

海南省（仮称）中央防災公園等活用事業者選定結果

平成30年12月に策定した「海南省（仮称）中央防災公園整備基本計画（令和2年6月変更）」及び令和3年3月に策定した「（仮称）体験学習施設整備基本計画」に基づき、海南省が計画している海南省（仮称）中央防災公園等整備事業を進めるにあたり、公園等の魅力的かつ効率的な運営を見据え、設計から施設完成後の管理運営まで一連の取組に携わる最も適切な民間事業者を選定しました。

1. 選定結果

最優秀提案者 株式会社KADOKAWA

2. 選定理由

選定委員会は、事業者公募時に公表された評価基準に基づき、提案書及びプレゼンテーション、ヒアリングの内容を踏まえて公正な審査を行った結果、株式会社KADOKAWAを最優秀提案者として選定しました。

株式会社KADOKAWAからは、地域との共生を念頭に、子どもたちが遊びと体験によって未来を生き抜く力を身につける学びの場として本公園を整備・運営し、豊かな自然に囲まれた本公園を起点に、持続可能なまちづくりへと展開していく大きなビジョンの提案がなされました。

提案内容には抽象的な部分もありましたが、幅広いリソースを持つ株式会社KADOKAWAの事業遂行能力には大いに期待ができるところで、本事業で海南省が目指す市の活性化及び子育て世代の移住定住に寄与する可能性が最も高い点を評価しました。

また、海南省としての現状や未来を考えると、夢とロマンのある提案にチャレンジすることが大切であるとの意見もありました。

3. 応募者数

4事業者

4. 選定の経過

令和3年 7月19日（月）	第1回海南省（仮称）中央防災公園等活用事業者選定委員会
令和3年 7月21日（水）	手続き開始の公告
令和3年 9月30日（木）	仮登録申込書（8者から提出）及び質疑書（2者から提出）の提出期限
令和3年10月12日（火）	第2回海南省（仮称）中央防災公園等活用事業者選

定委員会
令和3年10月29日(金) 応募書類の提出期限 4者から応募
令和3年11月5日(金) 選定委員会への諮問
令和3年11月18日(木) 第3回海南市(仮称)中央防災公園等活用事業者選
定委員会
令和3年11月22日(月) 答申

5. 選定委員会

(1) 選定委員会委員(順不同、敬称略)

委員長 牧 紀男 (京都大学防災研究所 教授)
副委員長 中 圭史 (海南市まちづくり部長)
委員 西川 一弘 (和歌山大学紀伊半島価値共創基幹 准教授)
委員 森下 順子 (和歌山信愛大学教育学部 准教授)
委員 神出 勝治 (海南商工会議所 会頭)
委員 岸 友子 (税理士)
委員 河合 佑香 (弁護士)
委員 馬場 一博 (海南中央公民館長、歴史民俗資料館運営審議
会委員、文化財保護審議会委員)
委員 中野 裕文 (海南市教育委員会教育次長)

(2) 事務局

海南市まちづくり部都市整備課

(3) 開催経過

第1回選定委員会

- ①開催日 令和3年7月19日(月)
- ②概要 委員長に牧委員、副委員長に中委員を選出しました。
また、(仮称)中央防災公園等活用事業に伴う活用事業者公
募事業の募集要項及び今後のスケジュールについて審議
し、共通理解を図りました。

第2回選定委員会

- ①開催日 令和3年10月12日(火)
- ②概要 選定の手順や審査項目、判定基準等について審議し、共
通理解を図りました。

第3回選定委員会

①開催日 令和3年11月18日（木）

②概要 第3回選定委員会では、応募書類の提出があった4事業者について参加資格等の確認を行い、4事業者について、参加資格等を満たしていることを確認しました。

次に、提出された応募書類について、応募事業者から説明を受け、ヒアリングを実施したうえで、提案内容等をもとに、「魅力と賑わい創出に繋がる運営方針か」、「市の活性化及び子育て世代の移住定住に繋がるか」、「市の費用負担」、「事業の実施能力」などについて、総合的に評価を行い、最も評価点の高い者を最優秀提案者に、次に評価点の高い者を優秀提案者として選定しました。